

## 《2 テキスト取込》の送信について

### 【テキストファイルを本文にして送信する 01】



《送信リスト》シートの《送信方法選択》を《2 テキスト取込》にします。

《1 通常》や《3 給与携帯版》についてはそれぞれを参照してください。

この送信方法では、取り込むテキストファイルの指定[本文ファイル指定]以外の置き換え項目名は無視されます。

件名に関して置き換えの利用はできません。《署名》シートの利用はできません。

分割や圧縮、置き換えを利用しない代わりに、本文そのものを相手によって変更して送信します。

E	F	G
送信方法選択	2 テキスト取込	ZIPファイルのパスワード
バージョン	ver.1.2 (2009/10/15)	

でアカウントの設定をしてください。

[▲ページの先頭へ](#) ● [マニュアルに戻る](#)

### 【テキストファイルを本文にして送信する 02】

《本文》シートに《件名》を設定します。

件名 ※ 必須項目

テストメール

必須です。この設定がされていない場合、送信できません。

《置き換え項目名》を利用することはできません。

[▲ページの先頭へ](#) ● [マニュアルに戻る](#)

### 【テキストファイルを本文にして送信する 03】

本文として読み込むテキストファイルを用意します。

最大500行までのテキストファイルを取り込むことができますが、メールとして扱える文字数を超過することはできません。良識の範囲内でテキストファイルを作成してください。

テキストファイル内に《置き換え項目名》と一致する文字列があっても、置き換えは行われません。署名シートの利用もできませんので、設定にはご注意ください。

取り込みを行うプレビューも《送信リスト》シートの《プレビュー》を利用して確認できます。

#### 【テキストファイルを本文にして送信する 04】

《送信リスト》シートに《TO》《送信する(●)》や《置き換え項目名》[本文ファイル指定]の《置き換え文字列》を指定します。

《TO》《送信する(●)》が設定されていない行は送信しません。

【テキストファイルを本文にして送信する 03】で準備したテキストファイルのパスを、[本文ファイル指定]列のそれぞれの行に記入します。

フルパスでの入力になります。ファイル名だけでは送信できません。

#### 設定

本設定]の項目を、[置換設定]で置き換えることはできません。

送信結果	送信する(●)	TO
	●	スモスA<■■■■@c
	●	スモスB<■■■■@c
	●	コスモスC<■■■■@c
	●	コスモスD<■■■■@c
		コスモスE<■■■■@c

#### 【テキストファイルを本文にして送信する 05】

《送信リスト》シートの《送信》ボタンをクリックします。

確認メッセージが表示されますので、送信する場合は《OK》を押してください。

送信中に送信を取りやめたい場合は、《Esc》キーを連打し、マクロの強制終了をしてください。

ファイルのパスとして扱えない、拡張子がtxtでない場合、確認メッセージやエラーメッセージを出力します。あまりにも長すぎるメールは正常に送信できない場合もございます。

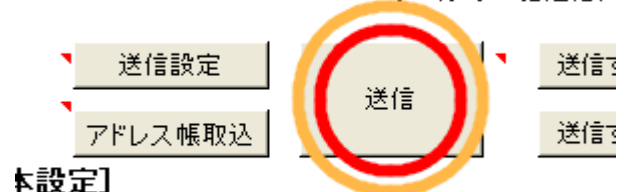
長文メールは一度テストを行ってから本番送信をすることをお勧めします。

送信中に表示される確認メッセージの詳細は《送信中、送信後のメッセージ》をご覧ください。

#### 送信リストシート

はじめに「送信設定

メールの一括送信、



本設定]

ユー	送信結果	送信する	TO
----	------	------	----

